

国際協力機構発行の社会貢献債（ソーシャルボンド）への投資について

朝日生命保険相互会社（社長 木村 博紀）は、資産運用を通じた社会貢献への取組みの一環として、2018年9月に独立行政法人 国際協力機構（JICA）が発行する社会貢献債（ソーシャルボンド）への投資を行いました。

本債券は、国際資本市場協会（ICMA）が定義を公表している「ソーシャルボンド」の特性に従う債券であり、調達資金は基礎インフラ開発（上下水・衛生・交通改善等）や社会サービスへのアクセス改善（健康・教育・職業訓練・金融サービス等）を含む社会開発に資する事業へ活用されます。

当社は中期経営計画「TRY NEXT～成長を実現し、未来を創る～」において、CSR活動を通じ、国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献を図る等、社会貢献へ取り組むこととしております。

引き続き、責任ある機関投資家として社会への責任を果たすとともに、安定的に資産運用収益を確保していくため、資産運用の高度化を進めてまいります。

<本債券の概要>

発行体 独立行政法人 国際協力機構（R&I 格付 AA+、S&P 格付 A+）
発行総額 200億円
償還期間 20年

以 上